

くらしの目線で市政を変える

発行：2016年10月30日
連絡先：日本共産党伏見地区委員会
TEL(611)9135 fax(602)9117



桃山・醍醐でみんなの願い実現に全力!! 西野さち子の活動日誌

10.19 戦争法廃止パレード

毎月19日に行われている戦争法廃止を求める集会が行われました。市役所前には多くの団体や市民の皆さんのが集まり、リレートークでは、京都平和委員会から京丹後のレーダー基地問題が報告され、京都大学農学部大学院生の方からTPP批准反対が訴えられました。雨もやみ、シュプレヒコールや歌声が響く中、パレードが行われ、西野さち子市議も参加しました。



「池田町バス停に 京都市と京阪バスに要望とどける 屋根とベンチを」



地域の方々から「ベンチと上屋がほしい」という声が多く寄せられ、350の筆を超える要望書名が寄せられました。池田東学区の日本共産党後援会の方々が要望書名を京阪バスと京都市交通局に届けられました。西野市議が同行しました。



地域のみなさんが交通局に願いのつまつた署名を手渡す

市政 西野市議の主な質問

報告 文化市民局 「市民いきいき活動センターは1時間100円で使いやすい。醍醐総合庁舎の会議室も住民に気軽に使えるようになります」と求めました。当局は「開庁時間内で、1か月前から申し込んでもらえれば可能」と答弁。趣味のサークルや赤ちゃん小組など、場所がなくて困っておられる方に朗報です。

環境政策局 東部山間埋立地の延命として、8月から1週間に10トンの焼却灰を他都市のセメント工場に運び、原料化の試行が行われています。京都市の焼却灰は金属が多いといわれていますから、「あと1世紀は使える可能性があると専門委員会の答申もある。もっと分別を進め、溶融施設計画を断念すべき」と質しました。

第54回部落問題研究者全国集会に参加しました

10月22日、部落問題研究者全国集会に西野市議が参加しました。「部落問題解決過程の到達点と課題」と題して桃山学院大学の梅本哲世氏の基調報告。討論ではドイツ人女性が自分の住んでいた米国で起きた警官が黒人を射殺した事件で、「表面上は解消されたように思っていたが、まだ人種差別が残っていることを実感した」と発言されました。「制度だけ変えてもだめ。暮らしの中で個人の尊厳を守る教育実践が重要」とパネラーから助言がありました。

